

会 議 録

1	会議名称	平成29年度宝達志水町地域交通会議
2	日 時	平成29年8月22日（火）午前10時00分から
3	場 所	役場庁舎 2階 第2応接室
4	出席委員	田中委員、細川委員、松田委員、源野委員、巻委員、畑山委員、今村委員 松浦委員、越委員、杉谷委員
5	事務局	(企画振興課) 一家課長、松原補佐、南谷主任、森主事
6	会議次第	1 報告事項 (1) 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について (2) 報告第2号 コミュニティバス事業について 2 議事案件 (1) 議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について
7	議 事	<開会>
	事務局	1 報告事項 (1) 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について 事務局より説明。(資料No.1 参照)
	議 長	只今の事務局からの説明について、何かご意見、ご質問等ございますか。
	細川委員	平成28年度の収支状況で512,000円の赤字となっているが、この分を町として補てんしているのか。
	事務局	この赤字分は運行事業者の(株)敷浪タクシーが負担している。町として補助金で赤字分全てを補てんしているわけではない。
	議 長	質問だが、年間利用回数の状況で「月1以下」とある「月1」とは片道ということなのか。
	事務局	あくまで平均値である。今月往復で2回乗り、翌月は1回も乗らなければ平均「月1回」ということになる。片道のみの利用はあまり考えられない。グラフで年間利用者をイメージしやすいよう区分するために「月1回」という表現にしている。
	源野委員	ほとんどは往復で利用されている。ただ片道のみの利用者としては、目的地へ行くだけの予定の方のほか、利用者の都合とデマンドタクシーの時刻表とが合わないときに、コミュニティバスやタクシーを併用している利用者の方もいる。 資料中、「利用場所の状況」からも分かるように、医療機関において乗車よ

	<p>り降車のほうが多いのは、病院の用が済んだ後に、そのままスーパーまで歩いて向かい、そこでデマンドタクシーを利用する方も多くいる。なので、商店においては逆に、降車より乗車のほうが多くなっている。生活に根付いた利用をされているのが分かると思う。</p>
事務局	<p>補足だが、年間の利用回数の集計は、回数ベースで集計しており、人の動き、つまり行きだけの利用だったのか、帰りだけの利用だったのかというデータは把握していない。そこまでトレースした分析はできていない。</p>
畑山委員	<p>年度別の利用状況として、3年連続で5%ずつ伸びているが、要因はなにか。</p>
事務局	<p>ここ3年は周知方法等において、大きな改善をしたわけではないので、これが要因であると断定できるものはない。純粹に口コミ等での利用者が増えたのではないかと思われる。</p> <p>今年の4月にダイヤの改正に併せて、時刻表のデザインを一新した。今まではコミュニティバスの時刻表とデマンドタクシーの時刻表は2枚に分かれていた。しかし、先ほどの源野委員の発言にもあったように、併用される方が多くおり、町としても併用して利用されることを強く望んでいる。なので、字のフォントサイズは小さくなるかもしれないが、目につくようにするため1枚にまとめた。これも利用者増の要因になっているのではないか。</p>
畑山委員	<p>免許自主返納者に対して、何か特典があるのか。</p>
事務局	<p>今年度から高齢者の免許自主返納者に対し、デマンドタクシーの回数券を配布する取組をはじめた。今までは商品券のみであったが、交通手段を確保してほしいことから、デマンドタクシーの回数券も特典に加えた。現時点で免許返納者11名に対し3名の方が回数券を選択しているという実績がでていいる。今後はさらに浸透していけばよい。</p>
議長	<p>それでは他に意見も無いようなので、続いて、報告第2号について、事務局より説明してください。</p> <p>(2) 報告第2号 コミュニティバス事業について 事務局より説明。(資料No.2 参照)</p>
細川委員	<p>宝達志水病院の患者は時間予約している。なので、バス時間と診察時間を合わせるのが難しいのではないか。しかし、そこはデマンドタクシーとの棲み分けがしっかりできているように見受けられる。</p>
事務局	<p>無料のバスが増えることで、デマンドタクシーの利用者が減ることを憂慮していたが、実際のところデマンド利用者は増加傾向にあり安心している。</p>

議 長	それでは他に意見も無いようなので、続いて、議案第1号について、事務局より説明してください。
事 務 局	2 議事案件 (1) 議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について 事務局より説明。(資料No.3 参照)
畑山委員	国庫補助金の申請を毎年提出いただいているが、補助金の予算額は年々減ってきているのが現状。
議 長	目標値は過去3年間の平均値とするのか。
畑山委員	目標は各自治体でそれぞれ決めているが、最後に自己評価してもらうので、具体性のある目標の設定をする必要がある。目標達成のために何を行い、どこが主体で行うのかを明記しておかなければならない。
議 長	デマンドタクシー利用者を増加するための取組として、免許自主返納者に対するデマンドタクシー回数券の配布を開始し、実績もでてきているとのことだが、もう少しPRして、目標達成に向けて取り組んでほしい。
細川委員	免許自主返納者に対する特典である町商品券及びデマンドタクシー回数券の金額はいくら分なのか。
事 務 局	商品券が3,000円分で、デマンド回数券は5,000円分で、デマンド回数券の方がお得にしてあるが、実際は商品券を選ぶ人がほとんどである。
議 長	他に意見も無いようなので、事務局の案で進めてよろしいでしょうか。 (異議なし)
事 務 局	次回の地域交通会議は、今年度の運行状況の詳細の報告や、翌年度に向けたルートの見直しの必要性の有無についてご意見をいただくため、12月に開催する予定です。今後ともご協力をお願いいたします。 <閉会>
8 資 料	資料No.1 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について 資料No.2 報告第2号 コミュニティバス事業について 資料No.3 議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について